



クラブハウス外観

その 279

クローズアップ21

巨大シートでグリーン90%保護 水戸グリーンカントリークラブ

従業員の負担減少で良好な環境を目指す

水戸グリーンカントリークラブ（18H、茨城県常陸大宮市）は、1991年11月7日に開場。関東オープンをはじめ、かつては、PGA水戸グリーンオープン、茨城オープンなど数々のトーナメントを開催したメンバーシップコースである。

同CCはありのままの地形を活かした適度なアップダウンのある18Hの丘陵コース。コースの設計は鈴木正一氏と経営母体であるエビハラスポーツマン（株）の代表を務める海老原寿人氏。同社は同クラブのほかに夏泊ゴルフリンクス（18H、青森県）など計6つのゴルフ場を運営している。グリーンはベント1グリーン、品種はペンクロス。

ゴルフ場のメンバー数は約2000人で、メンバーの平均年齢は60代半ば、年間来場者数は約3万5千人。来場者比率は、平日はメンバー45%、ビジター55%。土日はメンバーが多数を占める。来場者比率は県内が9割で水戸市近隣からの来場者が多く、県外は隣県（埼玉・千葉



水戸グリーンCC高橋亮一支配人

県）からが中心だ。10年前から通年でFW乗り入れを実施しており、集客も大きいとのこと。

水戸グリーンCCではコース・施設改修などを公式Instagramで更新し、注目を集め始めている。

クラブの主な取り組みについて高橋亮一支配人よりお話を伺ったので内容を紹介してきたい。

昨年11月より公式Instagramを週2、3回の頻度で更新

高橋支配人は、23年9月より水戸グリーンCC支配人に着任した。支配人自らInstagramを頻



繁に更新し、コース管理やクラブハウス館内など様々な視点で投稿を行っている。

「水戸グリーンはまだ認知度が低く、コロナバブルの終わりによる顧客離れ解消の一つとしてWEBプランを出したところ、反応が今ひとつでした。ゴルフ場の認知度を上げるため、昨年11月に公式Instagramを始めたのが、最初のきっかけです。

投稿は、基本的に投稿を見て下さるお客様やユーザーさんが水戸グリーンの取組みやコースの緑の成長などを楽しみの一つにしようことを目的に行っています。

自分で話題を作ったり、動画の編集もアプリを使ってやって

います。週2〜3回を目安になるべく投稿頻度が低くならないように心がけていますが、ネタ切れし

そうな時は従業員の皆さんにネタの提供をお願いしています。自分でやった方がお客様にもより伝わると思っています。投稿

を始めてから多くのメンバーさんを中心に好評をいただくことは嬉しいです。フォロワー数も毎月100人ほど伸びています」
（高橋支配人）

今後は、地域でも評価が高いレストラン料理関連の投稿も増やしていきたいとしている。

グリーンを90%保護する巨大シートで10・5フィートを維持

水戸グリーンCCでは、珍しい取組みとして冬の季節（1〜3月上旬）に巨大シートで18H



巨大グリーンシートを剥がす作業は4人でもひと苦労

全てのグリーンを保護している。

「グリーンシートは、昔から行っていたとコース管理スタッフから聞いています。この地域は冬の気温がマイナスになるため、どうしても凍ってしまうんです。7〜8年前から凍らないグリーンシートが出始めたので、その頃から他のゴルフ場と差別化を図るためにグリーンシートを導入しました。どうせならグリーンの90%を覆えるくらいにやろうということで、縦18m×横14mの巨大シートを18H分特注しています。このシートのお陰でほぼグリーンが凍りません。通

年10・5フィートでグリーンを楽しめるのでお客様からも喜ばれます。

せっかく特別なことをしているのにお客様がグリーンシートのことを知らないのは勿体ないです。シートについては、まだ告知を始めたばかりなので、Instagramやクラブハウス内ポスターなどで告知を強化しながら、冬の集客に繋がっていきたいと思います」

10番ホールの難易度を下げるために1月から改修実施

同CCは、現在IN10番ホールの改修を進めている。元々、このホールは閉鎖したコースから途中のホールだったが、INスタートとしてのホールとなり、難易度がかかなり高くなってしまったそうだ。

「以前から10番ホールが難しいというメンバーさんの声が多いので、今年1月から改修に着手しました。ロングホールでアップダウンもありますし、右側に林があつて、その場所にボール



改修中の10番ホール

を打ってしまうとレイアップし
かできません。そのため、ティ
ショット・2打目の打ちやすく
したり景観を良くするために、
ティショット右側の小山とその
先の丘（8番ホール右側）の樹
木の伐採をしています。伐採し
た場所に芝を張るまでが10番ホ
ール改造工事の工程です。今年
の秋頃までには終わる予定なの
で、景観が良くなった10番ホー
ルをメンバーさんには是非体感し
てもらいたいです。今のところ

他のホールの改修予定はないの
ですが、まだまだ難しいホール
があるので、今後はティーエリ
ア（前方ティなど）の造成をや
っていきたいと思います。また
改修を実施する場合は、メンバ
ーさんへの告知も含めて改修の
経過を投稿していきたいです」

男女ロッカールームや女子 トイレなど、館内リニュー アルに着手

水戸グリーンCCは、23年末
から今年初めにかけて男女ロッ
カールームや女子トイレ・脱衣



男子ロッカー

室など館内リニューアルを行っ
た。リニューアルのきっかけな
どについて高橋支配人は次のよ
うに語っている。

「昨年12月に女子ロッカール
ムのカーペットや照明、女子ト
イレの床・脱衣室を改修し、男
子ロッカールームは今年1月末
にリニューアルしました。クラ
ブハウス内の老朽化の解消や女
性のお客様を増やしていくこと
が目的です。男子ロッカール
ームを綺麗にしたのは、今年5月
に行われる関東女子倶楽部対抗
選手権競技の会場で使用するた
めです。ロッカールームの照明
についてはダウンライトの仕様
も変えて数を増やして明るくな



女子ロッカー



女子脱衣室

りました。メンバーさんも胸を
張って自分のゴルフ場を他の方
に紹介できるので、クラブの雰
囲気作りやゴルフファーのために
施設環境を整えることは大切な
ことです。来場者を増や
して施設改修をどんどん
進めていけば、客単価に
繋がっていくと思います。
今後とも改修に注力して
いきたいです」

そのほか、女性客向け
に浴室のReFaシャワーヘ
ッドや脱衣室のDysonド
ライヤー、ブランケット

女性限定のブランケットサービス



サービスなどを実施して、女性

来場者率が9%弱から11%まで上がった。最近では、お試しで女性インフルエンサーとのタイアップも行うなど女性来場者からのSNS拡散や口コミも少しずつ増えてきているという。また、23年はWEB予約率が約20%だったが、40%程度まで上がったこと。

今後、女性来場者向けサービスの向上やクラブハウス館内やコース内施設を改善していくとしている。

23年3月にレストランナー ドリンクシステムを開始

同CCは、昨年3月からレス

トランナー

ドリンクシステムを導入した。4〜5年前から人手不足で困っており、昨年導入を決めたこと。

「オーダーシステムについてはタブレット操作が慣れている方が多いです。たまに戸惑われるお客様もいらつしゃいますが、細かい操作以外は特に問題ありません。レストランメニューに関しては一番人気のトンカツ



膳」

はじめ、ミスジステークや常陸秋そばなど、どれも料理の評価は高いです」

オーダーシステムのお陰で従業員の負担も減ったという。なお、レストランでは、女性向けに『ナンpizaで好みランチ』も提供している。

従業員とコミュニケーションを毎日取ることで良好な環境維持

近年、ゴルフ業界では「働き方改革」が意識され始めている。社員環境の整備や人材確保、意識の上げ方などについて高橋支配人は従業員とのコミュニケーションを大切にしているという。

「どうしても部署間で人間関係の問題は出てきますので、空き時間に部署問わずみんなに話しかけて、一人一人の話を毎日聞くようにしています。人材確保については、タウンワークやタイムリーなどを使って短時間勤務の募集をかけています」

支配人はこれまでに様々なゴルフ場を経験しており、その経験を糧に気さくに従業員に話しかけながら情報共有を行っている。これからもより良い職場作りを維持するためにこの取組みを継続していくという。

最後に高橋支配人は今後の意気込みについて次のように話した。

「これからおお客様がゴルフを楽しむよう、地道にクラブ施設を綺麗にしていきたいです。インスタ映えするクラブハウスの玄関など、需要に合わせながらメンバー・ビジター問わず楽しめるものを提供していきたいと思います。」

今後はDXに注力して、フロントでのチェックイン減少や練習ボールの現金購入を無くしてロッカーホールダーで購入の推進など、従業員の負担を減らしてあげられるような環境を作っていききたいです」



フロントとスタート室を一緒に合理化と従業員の負担減少